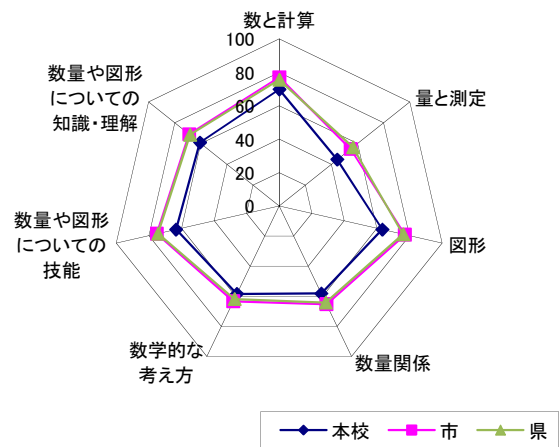


宇都宮市立海道小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	69.7	77.0	75.6
	量と測定	44.5	54.7	56.4
	図形	63.3	77.2	76.2
	数量関係	58.2	65.3	64.2
観点	数学的な考え方	58.5	63.4	61.9
	数量や図形についての技能	63.4	75.2	74.5
	数量や図形についての知識・理解	60.8	69.0	68.3



★指導の工夫と改善 ,○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●領域別の正答率は69.7%で、県平均を5.9ポイント下回る。 ●かけ算の問題の平均正答率は71.9%で、県平均を7.8ポイント下回る。 ●小数の問題の平均正答率は70.0%で、県平均を6.3ポイント下回る。 ●分数の問題の平均正答率は64.1%で、県平均を11.1ポイント下回る。	・桁の多いかけ算や割り算を苦手とする児童が多いので、授業中の確認や家庭学習でのドリルや学習プリントを活用しての反復練習を行い、計算に対する抵抗感をなくするとともに、基礎基本の定着を図る。 ・テスト、ドリル等の見直しを徹底することにより基礎・基本の定着を図り、不注意による間違いをしないようにする。
量と測定	●領域別の正答率は44.5%で、県平均を11.9%下回る。 ●面積の㎡とcm ² の単位の問題、正方形の面積を求める問題、角の大きさの見当をつける問題の正答率は34.4%、46.9%、59.4%で、県平均を8.4ポイント、22.5ポイント、14.4ポイント下回る。	・算数の授業だけではなく、他教科においても単位の換算を取り上げて指導する。少人数での指導やかがやきルームでの指導と連携を取り合い、個に応じた指導を継続して行っていく。また、教科書にでてくる単位だけではなく、重さや面積など生活に使われている単位について機会ごとに取り上げ、一層の定着を図る。
図形	●領域別の正答率は63.3%で、県平均を12.9ポイント下回る。 ●立体の見取り図から辺と平行な辺を選ぶ問題の正答率は56.3%で、県平均を23.9ポイント下回る。 ●ひし形の作図の問題の正答率は46.9%で、県平均を31.7ポイント下回る。	・プリントやドリルを活用し、図形の作図については、コンパスや定規の使い方に慣れさせ、正確に作図ができるようにさせる。 ・ICTや少人数指導を利用し、視覚的に図形を捉えさせ、個々の理解度を高める。
数量関係	●領域別の正答率は58.2%で、県平均を6.0ポイント下回る。 ●計算のきまり・変わり方調べの問題の平均正答率は63.4%で、県平均を7.5ポイント下回る。その中でも、表にあてはまる数を求める問題の正答率は、県平均を9.0ポイント下回る。 ●折れ線グラフと表の問題の平均正答率は45.8%で、県平均を5.9ポイント下回る。その中でも、折れ線グラフを比べ、目盛りのとり方の違いを説明する問題の正答率は、県平均を12.3ポイント下回る。	・プリントやドリルを活用し計算のきまりについては、意図的に取り上げ、練習することにより定着を図る。 ・グラフを読み、説明する活動を他の教科の授業や日常生活の中で行うことで理解を深める。 ・朝の学習や家庭学習で、ドリルやプリントを使って反復練習させ、数量関係の問題への対応力を育てる。